

## 平成 28 年度霞ヶ浦学講座第 8 講 結果報告

テーマ：「霞ヶ浦導水事業関連施設見学バスツアー」 参加者数：35 名

実施日時：平成 28 年 11 月 30 日（水）9:00－17:30

場所：霞ヶ浦導水事業那珂機場、桜機場、高浜機場、利根機場

講師：国交省霞ヶ浦導水工事事務所職員

### ○那珂機場（水戸市渡里地区）

那珂機場是那珂川から那珂樋管で取水した水を、桜機場を経て霞ヶ浦方向へ、導水トンネルで送るための施設です。また霞ヶ浦から送られてきた水を那珂川へ供給することもできます。那珂川から取水する時、アユをはじめ魚類の迷入を防止する施設が設置されます。また仔アユが降河する時期の夜間は取水を停止して迷入を回避します。那珂機場のポンプ室で、毎秒 9.5 トンの送水が可能な青く塗装された巨大なポンプと毎秒 5.5 トンの送水が可能な赤く塗装されたポンプを見学しました。さらに、深く巨大な立坑と沈砂池を見学しました。沈砂池は屋内の広い施設で、流速を遅くして砂などを沈殿させる機能があります。

### ○桜機場（水戸市河和田地区）

水戸市内の桜川及び千波湖は、水質改善が課題になっています。特に千波湖では夏期にアオコが発生し、市民を悩ませてきました。霞ヶ浦導水事業の桜機場是那珂川からの水を桜川に放流し、桜川と千波湖の水質を改善するための施設です。ここでは直径 15m の深い立坑を上部から見学し、内壁をスクリーンとする動画投影で説明を受けました。さらに地下 50m にある直径 4m の導水トンネルに入り最深部を歩きました。



桜機場 導水トンネル最深部

利根機場

### ○高浜機場（石岡市三村地先）

高浜機場では地上部の建屋などの施設はまだ建設されていませんが、立坑（直径 19.4m、深さ 37.8m）とトンネルができており、上部から深い立坑をのぞき込みました。高浜機場では、那珂川へ導水する前に霞ヶ浦の水を浄化する施設が建設されるため、広い用地が確

保されていました。

#### ○利根機場（稲敷市結佐地先）

利根川と霞ヶ浦を結ぶ利根導水路はすでに完成しており、水資源機構との共同施設となっています。ここ利根機場では、切り替えゲートにより利根川と霞ヶ浦の水を相互に通水することができるようになっており、沈砂池などが設置されています。ここでは毎年、機能を確認するために施設を動かしています。今年は利根川で渇水となったため、水資源機構の事業として霞ヶ浦から利根川へ水を送ったそうです。

霞ヶ浦導水事業としては、これまでに試験通水が行なわれましたが、那珂導水路が完成し、那珂川と利根川が霞ヶ浦へつながって、水をやりとりすることで全ての効果を発揮するものなので、早期に那珂導水路の完成を目指しているそうです。

今回のバスツアーでは常磐高速道と圏央道を利用して、一日で4ヶ所の施設を見学しました。各施設の機能について、霞ヶ浦導水工事事務所職員から丁寧で詳細な説明を受け、事業の全容について理解を深めることができました。